

“嘉手納より南” 89 億円

県関係 4.4% 増の 1726 億円

防衛省

【東京】防衛省は 2015 年度沖縄関係予算案で、嘉手納より南の米軍基地返還に伴う経費に 89 億 2 千万円 (契約ベース) を計上した。3 月末に返還予定の西普天間住宅地区の建物の取り壊しや土壌汚染調査費には 48 億円が付いた。那覇軍港移設関係費は 3 億 7 千万円、牧港補給地区の倉庫群移転費は 28 億 2 千万円。与那国島の陸上自衛隊沿岸監視部隊配備計画では、

宿舎用地取得費 2 億円を計上。陸自警備部隊の宮古、石垣配備に向けた調査費は 2 千万円を盛り込んだ。防衛省地方協力局分の沖縄関係経費は 14 年度当初比で 4.4% 増の 1726 億円 (契約ベース) だった。ホワイトビーチの汚水処理施設整備費など、11 施設 28 事業の提供施設整備費が数字を押し上げた。

嘉手納基地や普天間飛行場周辺の住宅防音工事は 14 年度補正で約 15 億円を計上した影響から減額。周辺環境整備事業は沖縄カトリック小の防音工事を完了に伴い歳出ベースでは減ったが、その他の学校への工事を予定しているため契約ベースでは増額となった。軍用地料は単価が 1.35% 増。西普天間住宅地区の返還に伴う 8 億円減の影響で全体で 4 億 9 千万円増となった。基地従業員給与は、臨時特例法に基づく減額措置が 4 月に終了し、5 月分から減額されていた分が支給されるため、16 億 6 千万円の伸びとなった。日米特別行動委員会 (SACO) の沖縄関係費は 35

・6% 減の 13 億 2 千万円。嘉手納の海軍駐機場移転がほぼ完了することから大幅減となった。一方、北部訓練場のヘリパッド建設費などを盛り込んでいる。

防衛省地方協力局の 2015 年度沖縄関係予算案 (単位: 百万円、%)

事 項	14年度 予算額	15年度 予算(案)	対前年度 増△減額	対前年度 伸率
1. 基地周辺対策経費	<16,908> 18,006	<17,164> 15,780	<255> △2,226	<1.5> △12.4
住宅防音	<6,333> 6,276	<5,053> 4,996	<△1,279> △1,280	<△20.2> △20.4
周辺環境整備	<10,576> 11,729	<12,100> 10,784	<△1,535> △946	<△14.5> △8.1
2. 補償経費等	<100,301> 100,301	<100,644> 100,351	<343> 50	<0.3> 0.0
(1) 施設の借料	97,998	98,602	603	0.6
土地等の借料	97,339	97,823	484	0.5
その他(道路使用等)	659	779	120	18.2
(2) 漁業補償	929	957	28	3.0
(3) その他の補償等	<1,374> 1,374	<1,085> 793	<△289> △581	<△21.0> △42.3
3. 基地従業員関係	43,716	45,374	1,659	3.8
4. 提供施設の整備	<4,371> 4,383	<7,041> 6,072	<△2,670> 688	<△61.1> 15.7
5. 提供施設の移設	<49> 43	<2,390> 76	<△2,341> 32	<△49.0倍> 74.5
合 計	<165,345> 166,449	<172,612> 166,653	<△7,267> 203	<△4.4> 0.1

注: 1 上段<>内は、契約ベースである。
2 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがある。